4-281-572-**01**(1)

ブルーレイディスク™／DVDライター

取扱説明書

VBD-MA1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

76ページの注意事項をよくお読みください。

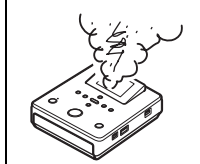
定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

指のケガに注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

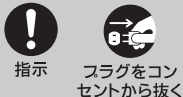
分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

必ずお読みください

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権に関するご注意

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ機器を接続して番組を録画する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。本体の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源を切断できません。

- "ハンディカム"、"サイバーショット"、"α"、"ブロギー"、"メモリースティック"、"メモリースティック　デュオ"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック　PRO　デュオ"、"メモリースティック　PRO-HG　デュオ"、"メモリースティック　マイクロ"、"マジックゲート"、そしてそれぞれのロゴマークは、弊社の商標あるいは登録商標です。「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- Microsoft、Windows、およびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ブルーレイディスクTM、およびそのロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。
  本製品は、ドルビーラボラトリーズ社とのライセンス契約に基づき、製造されています。
  DolbyとダブルDのシンボルマークは、ドルビーラボラトリーズ社の商標です。
- 本製品には、著作権者（イーソル株式会社）とのライセンス契約に基づき、その著作権者のソフトウェアが使用されています。

目次

ダビング:動画

ダビング:写真

プレビュー

各種設定

パソコンにつないで使う

困ったときは／参考情報

その他

ダビングモードを確かめる
ダビング方法は、作成したいディスクや撮影した機器の種類などによって異なります。下図をご覧になり、該当するダビングタイプのページに進んでください。

作成したいディスクの種類は？

ブルーレイディスク（ハイビジョン画質）	DVD（ハイビジョン画質）	DVD（標準画質）	ブルーレイディスクまたは DVD
A	A	B	
		C	
			E
		B	
		C	
A	A	B	
		B	
		D	
			E
A	A	B	
		B	
		D	
			E
		D	

ダビングタイプ参照ページ

A 8ページ

B 10ページ

C 12ページ

D 14ページ

E 16ページ

ダビングタイプ

ハイビジョン画質の動画をハイビジョン画質のままダビングする

AVCHD 規格で撮影したハイビジョン画質（HD）の動画をそのままの画質でディスクにダビングします。

HD Video ➡ HD Video

記録されているカメラのメディアは？

- ハードディスク
- 内蔵メモリー

AVCHD

- メモリーカード

AVCHD

AVCHD：画像の形式

接続と設定

ソニー製カメラ

USB ケーブルでつなぐ

➡ 28ページ

他社製カメラ

カメラの機能を使って、動画をメモリーカードにコピーする

メモリーカードを挿入する

➡ 33ページ

ご注意

- ソニー製カメラの[HD FX]モードなど、18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質（HD）の動画は、AVCHD規格の規定によりDVDメディアにはダビングできません。BDにはダビングできます。
- 1080/60p映像（ソニー製カメラの[HD PS]モード）や3D映像などのハイビジョン画質（HD）の動画はダビングできません。

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング
メディアに記録されている動画をすべてダビングします。

38ページ

つづきダビング *1
メディアの中の新しく記録された動画だけをダビングします。

38ページ

プレイリストダビング *1
メディアにあるプレイリストどおりにダビングします。

38ページ

映像選択ダビング
シーン *1 や撮影日から動画を選んでダビングします。

38ページ

ワンタッチダビング *2
カメラのワンタッチディスクボタンを押すだけでダビングできます。

41ページ

*1 ソニー製カメラのみ可能です。
*2 ソニー製カメラの一部機種に対応しています。（USB ケーブルでつないでください。）

作成できるディスクは. . .

ブルーレイディスク
- ハイビジョン画質（HD）の動画が記録されています。
- ハイビジョン画質（HD）の動画または写真を追記できます。

DVD（AVCHD ディスク）
- ハイビジョン画質（HD）の動画が記録されています。
- ファイナライズしていなければ、ハイビジョン画質（HD）の動画または写真を追記できます。

再生の詳細については、「ダビングしたディスクについて」（70 ページ）をご覧ください。

ハイビジョン画質の動画を標準画質に変換してダビングする

ハイビジョン画質（HD）で撮影した動画を、一般の再生機器で再生できるように標準画質（SD）に変換してディスクにダビングします。

HD Video → SD Video

記録されているカメラのメディアは？

ハードディスク

内蔵メモリー

メモリーカード

8cm ディスク

AVCHD　MP4

DV テープ

HDV

AVCHD など：画像の形式

接続と設定

AV ケーブル * でつなぐ

➜ 31ページ

ご注意

- カメラをUSBケーブルでつないでもダビングはできません。

DV（i.LINK）ケーブル * でつなぐ
ハンディカムの［i.LINK DV 変換］設定を［入］にしてつなぎます。

➜ 30ページ

* カメラに付属または別売り

ダビング方法を選んでスタート！

マニュアルダビング
カメラを操作しながら動画をダビングします。

47ページ

まるごとダビング
メディアに記録されている動画をすべてダビングします。

43ページ

マニュアルダビング
カメラを操作しながら動画をダビングします。

43ページ

作成できるディスクは. . .

DVD ディスク
- 標準画質（SD）の動画が記録されています。
- ファイナライズしていなければ、標準画質（SD）の動画または写真を追記できます。

再生の詳細については、「ダビングしたディスクについて」（70 ページ）をご覧ください。

標準画質の動画を標準画質のままダビングする

ハンディカムで撮影した標準画質（SD）の動画はさまざまな方法でディスクにダビングできます。

SD Video ➡ SD Video

記録されているカメラのメディアは？

ハードディスク

内蔵メモリー

MPEG2

メモリーカード

MPEG2

DV/D8 テープ

DV

8cm ディスク

MPEG2

- 上記すべてのメディア
- その他のメディア
（8mm テープ、MICROMV テープなど）

MPEG2 など：画像の形式

接続と設定

USB ケーブルでつなぐ

➡ 28ページ

メモリーカードを挿入する

➡ 33ページ

DV（i.LINK）ケーブル * でつなぐ

➡ 30ページ

AV ケーブル * でつなぐ

➡ 31ページ

* カメラに付属または別売り

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング
メディアに記録されている動画をすべてダビングします。
38ページ

つづきダビング
メディアの中の新しく記録された動画だけをダビングします。
38ページ

プレイリストダビング
メディアにあるプレイリストどおりにダビングします。
38ページ

映像選択ダビング
シーンや撮影日から動画を選んでダビングします。
38ページ

ワンタッチダビング
カメラのワンタッチディスクボタンを押すだけでダビングできます。
41ページ

まるごとダビング
メディアに記録されている動画をすべてダビングします。
43ページ

マニュアルダビング
カメラを操作しながら動画をダビングします。
43ページ

マニュアルダビング
カメラを操作しながら動画をダビングします。
47ページ

作成できるディスクは...

DVD ディスク
- 標準画質（SD）の動画が記録されています。
- ファイナライズしていなければ、標準画質（SD）の動画または写真を追記できます。

再生の詳細については、「ダビングしたディスクについて」（70 ページ）をご覧ください。

カメラやビデオ機器から動画をダビングする

AV ケーブルでカメラやビデオ機器をつないで、動画をディスクにダビングできます。（DV カメラは、DV ケーブルでつなぐこともできます。）

SD Video ➡ SD Video

記録されているビデオ機器のメディアは？

DV テープ

DV

ハードディスク

内蔵メモリー

メモリーカード

8cm ディスク

MPEG2 MP4 MotionJPEG

さまざまなカメラやビデオ機器
（映像出力端子のある機器）

MPEG2 など：画像の形式

接続と設定

DV（i.LINK）ケーブル * でつなぐ

➡ 30ページ

AV ケーブル * でつなぐ

➡ 31ページ

* カメラに付属または別売り

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング
メディアに記録されている動画をすべてダビングします。

43ページ

マニュアルダビング
カメラを操作しながら動画をダビングします。

43ページ

マニュアルダビング
カメラを操作しながら動画をダビングします。

47ページ

作成できるディスクは...

DVD ディスク
- 標準画質（SD）の動画が記録されています。
- ファイナライズしていなければ、標準画質（SD）の動画または写真を追記できます。

再生の詳細については、「ダビングしたディスクについて」（70 ページ）をご覧ください。

ダビングタイプ

写真をダビングする

JPEG ファイルなどの写真をディスクに保存します。

記録されているカメラのメディアは？

ソニー製カメラ *1

ハードディスク

内蔵メモリー

JPEG

*1 “ブロギー” など MP4 カメラを除く

メモリーカード

JPEG　RAW *2　3D

*2 ソニー ARW ファイルのみ

JPEG など：画像の形式

接続と設定

USB ケーブルでつなぐ

➜ 28ページ

メモリーカードを挿入する

➜ 33ページ

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング
メディアの中の写真をすべてダビングします。

49ページ

写真選択ダビング
シーンや撮影日から写真を選んでダビングします。

49ページ

作成できるディスクは…

ブルーレイディスク

- 写真が記録されています。
- 写真またはハイビジョン画質（HD）の動画を追記できます。

DVD ディスク

- 写真が記録されています。
- ファイナライズしていなければ、写真または標準画質（SD）の動画を追記できます。

再生の詳細については、「ダビングしたディスクについて」（70 ページ）をご覧ください。

この取扱説明書の使いかた

ディスクへのダビングを始める前に、まず、「ダビング方法の選択」をご覧ください。
「ダビング方法の選択」では、お使いの機器やダビングしたい画像の種類を選びながら、ダビング方法を確認できます。

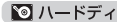
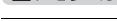
ダビング方法の選択（6ページ）
「ダビングモードを確かめる」（6ページ）で、作成したいディスクの種類やお使いの機器などの条件に合うダビング方法を探します。次に「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」（8ページ～16ページ）で、お使いの機器に合った接続や操作方法を確認してください。
ダビングの準備（26ページ）
「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」の結果にしたがってお使いの機器と本機をつなぎ、機器の設定などの準備をしてください。
ダビング（38、49ページ）
「ダビングタイプⒶ～Ⓔ」で選んだお好みのダビング方法のページをご覧になり、本機を操作してください。

ハイビジョン画質（HD）動画と標準画質（SD）動画について
「ハイビジョン画質（HD）動画」とは、高画質で撮影された動画のことで、使用する製品の画面などに「HD」と表示されます。それに対し、「標準画質（SD）動画」とは、標準の画質で撮影された動画のことで、「SD」と表示されます。最新のソニー製カメラでは、「標準画質（STD）動画」と称し、「STD」と表示されています。

ハンディカムについて
本書で「ハンディカム」とは、ソニー製ビデオカメラのことです。

ディスクの呼称について
本書で「BD」とは、ブルーレイディスクをさします。

画像について
本書で「画像」とは、動画と写真の両方のことをさします。

画面イラストについて
本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。

メディアマークについて

本書では、接続や操作方法の説明の前に、ダビング可能な機器･メディア･ディスクを示すマークを記載しています。接続や操作方法を選ぶ目安としてください。

機器の種類

マーク	ダビング可能な機器
ソニー製カメラ	ソニー製デジタルビデオカメラまたはソニー製デジタルスチルカメラ
他社製カメラ	他社製デジタルビデオカメラ
一般ビデオ機器	映像／音声出力端子のある各種ビデオ機器

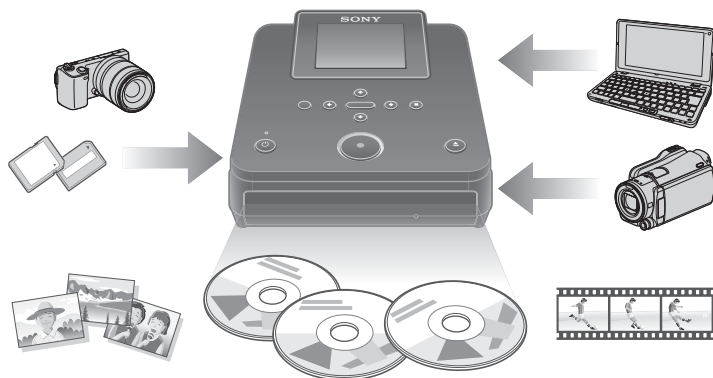
メディアの種類

マーク	ダビング可能なメディア
ハードディスク	カメラに内蔵されたハードディスク
内蔵メモリー	カメラに内蔵されたメモリー
メモリーカード	カメラで使用された"メモリースティックデュオ"やSDカードなどのメモリーカード
DVテープ	カメラに挿入されているテープ(DV規格／Digital8規格)

ディスクの種類

マーク	ダビング可能なディスク
BD	ブルーレイディスク
DVD	DVDディスク

本機でできること

本機を使えば、簡単に動画や写真をパソコンなしでディスクにダビングできます。

ハイビジョン画質（HD）の動画のダビング

デジタルカメラで撮影したハイビジョン画質（AVCHD規格）の動画を、そのままの画質でBDやDVDにダビングできます。

標準画質（SD）の動画のダビング

さまざまなビデオ機器に記録した動画を標準画質でディスクにダビングできます。ダビングしたディスクは、DVDプレーヤーなどのDVD機器で再生できます。

写真のダビング

JPEG規格、3D写真（MPOファイル）、RAW規格の写真（ソニーARWファイル）を、BDやDVDにダビングできます。

外付けディスクドライブとして使う

本機をパソコンにつなげば、外付けのBD/DVD/CDディスクドライブとして使えます。

ダビングできる場合とダビングできない場合について

ダビングできる場合

ダビングできることは、機器や画像、ディスクによって、さまざまです。本機は以下のダビングに対応しています。

- ソニー製カメラや他社製カメラのAVCHD規格で撮影したハイビジョン画質（HD）の動画をBDやDVDにダビングする。*1
- ハンディカムのMPEG-2規格で撮影した標準画質（SD）の動画をDVDにダビングする。*1
- ソニー製カメラや他社製カメラのDV規格で撮影した標準画質（SD）の動画をDVDにダビングする。*2
- 各種ビデオ機器から動画をDVDにダビングする。*3
- ソニー製カメラや他社製カメラで撮影したJPEG規格（.jpg)や3D規格（.mpo）の写真をBDやDVDにダビングする。
- ソニー製カメラで撮影したRAW規格（.arw)の写真をBDやDVDにダビングする。

*1 USBケーブル（ソニー製カメラのみ）かメモリーカードスロットを使用してください。8cmディスクに記録された動画をダビングすることはできません。

*2 DV（i.LINK）ケーブルを使用してください。

*3 ビデオ機器の映像／音声出力を使用してください。

ダビングできない場合

以下のようなハイビジョン画質（HD）の動画を、そのままの画質でディスクにダビングすることはできません。

- 1080/60p映像（ソニー製カメラの場合［HD PS］モード）や3D映像など
- HDVテープに記録したハイビジョン画質（HD）の動画
- 8cmディスクに記録したAVCHD規格のハイビジョン画質（HD）の動画
- MP4(MPEG-4)規格で撮影したハイビジョン画質（HD）の動画
- ソニー製カメラの［HD FX］など、AVCHD規格の18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影したハイビジョン画質（HD）の動画をDVD*にダビングすること

* BDにはダビングできます。

以下のような標準画質（SD）の動画を、ディスクにダビングすることはできません。

- 本機のVIDEO IN端子やDV IN端子を使って、動画をBDにダビングすること
- 標準画質（SD）の動画をBDにダビングすること
- USBケーブルを使って、8cmディスクに記録した標準画質（SD）の動画をダビングすること
- USBケーブルやメモリーカードスロットを使って、携帯電話やMP4ウェブカメラで撮影したMP4（MPEG-4）やMPEG-1、MotionJPEGのような対応していない規格の標準画質（SD）の動画をダビングすること

以下の写真をディスクにダビングすることはできません。

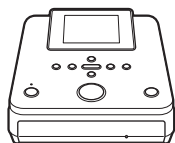
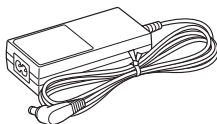
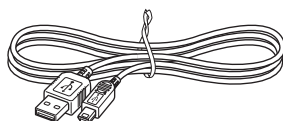
- 他社製カメラのRAW規格で撮影した写真をダビングする。

ご注意

- コピー制御信号のある動画（市販のBD、DVDビデオソフト、ビデオテープ、ケーブルテレビ、衛星あるいは地上波デジタル放送の番組など）はダビングできません。
- 他の機器でダビングしたディスクへ動画や写真を追記することはできません。
- カメラに、複数の種類のメディア（ハードディスクや内蔵メモリー、メモリーカード）が搭載されている場合、各メディアに保存されている画像を同時にダビングすることはできません。
- カメラを、パソコンや "プレイステーション3" につないでファイルの削除や画像の編集を行った場合、本機につないでダビングできなくなることがあります。ファイルの削除や画像の編集は、カメラ本体で行ってください。

付属品を確かめる

箱を開けたら、製品本体と以下の付属品がそろっているか確認してください。
万一不足の場合は、お買い上げ店へご相談ください。
(　)内は個数です。

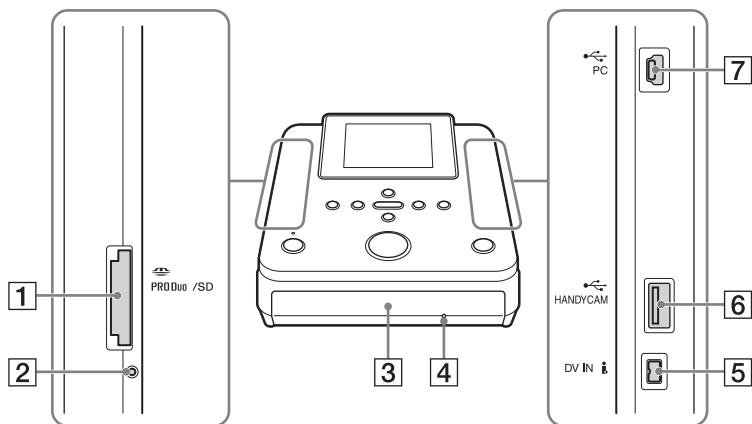
VBD-MA1本体(1)

ACアダプター(1)

USBケーブル(1)

電源コード(1)
取扱説明書(本書)(1)
保証書(1)
ソニーご相談窓口の案内(1)

ご注意

- 付属の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

各部の名称とはたらき

（　）内は参照ページです。

前面と側面

1 **メモリーカードスロット（33）**
“メモリースティック　デュオ”またはSDカードを挿入します。

ご注意
- 本機をパソコンにつないだとき、このスロットはメモリーカードリーダーとしては使用できません。

2 **メモリーカードランプ**
メモリーカードを読み込んでいるときにオレンジ色に点灯します。

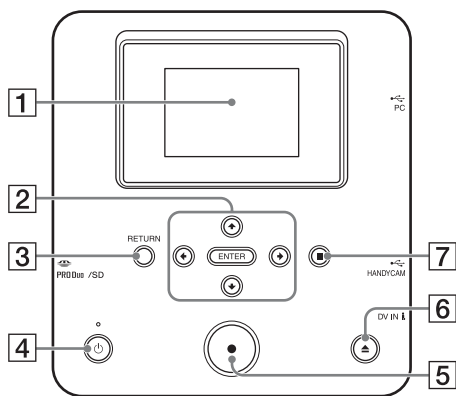
3 **ディスクトレイ（27）**

4 **緊急取り出し穴**
⏏（開）ボタンを押してもディスクトレイが開かないときは、本機の電源を切り、この穴にピンやクリップなどをまっすぐ差し込んでください。ディスクトレイが開きます。

5 **DV IN（DV入力）端子（30）**

6 **USB端子（タイプA）（28）**
ここにカメラをつないで、画像をダビングします。

7 **USB端子（タイプミニB）（58）**
ここにパソコンをつないで、外付けディスクドライブとして使います。

操作パネル

1 **ディスプレイ**
操作画面、ビデオ機器やメモリーカードの画像などを表示します。

2 **↑/↓/←/→/ENTER（選択）ボタン（43、52）**

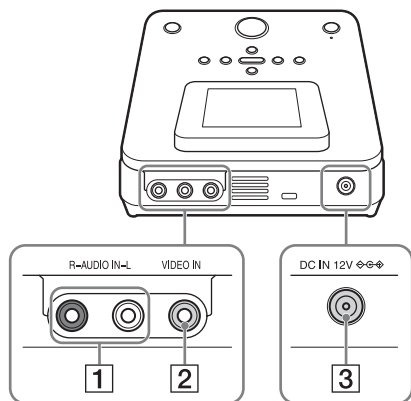
3 **RETURN（メニュー／戻る）ボタン（36、54）**
［メニュー］画面を表示したいときに、このボタンを押します。

4 **⏻（電源）スイッチ（26）**

5 **（ダビング／録画）ボタン（38、49）**

6 **⏏（開）ボタン（27）**

7 **■（停止）ボタン（39、52、54）**

後面

1 **AUDIO IN（音声入力）端子（31）**

2 **VIDEO IN（映像入力）端子（31）**

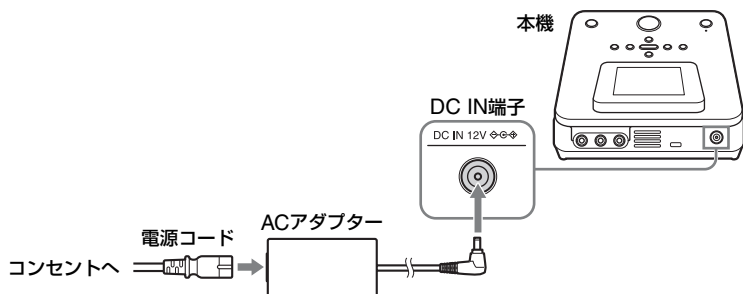
3 **DC IN（電源入力）端子（26）**

ご注意
- 本機をご使用後、端子などの金属部分に触れると、少し熱く感じることがありますが、故障ではありません。

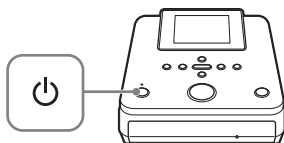
本機の電源を入れる

1 付属の電源コードをACアダプターにつなぐ。

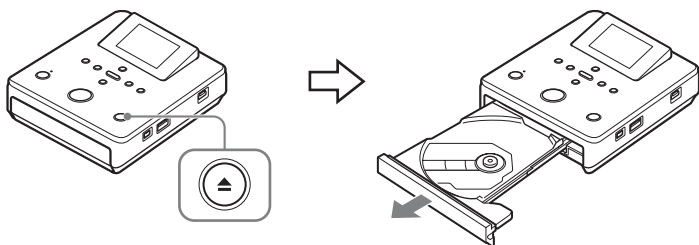
2 本機のDC IN端子にACアダプターの電源プラグを差し込む。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

ご注意

- 付属の電源コードとACアダプターをお使いください。
- 破損しているコードは使わないでください。

4 ⏻(電源)スイッチを押す。

ディスプレイが明るくなり、ロゴが表示されてから、本機の状態に応じた画面が表示されます。

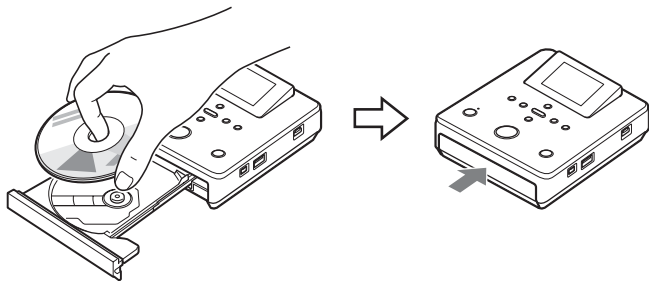
ディスクを挿入する

1 ⏏（開）を押す。

ディスクトレイが開きます。

ディスクトレイは途中までしか開きません。手で引き出してください。

2 録画面を下にしたディスクをディスクトレイに置き、トレイを矢印の方向に押し込む。

ご注意

- ディスクの録画面には触れないでください。

ディスクはカチッと音がするようディスクトレイに装着してください。

ディスクトレイはカチッと音がするまで確実に押し込んでください。

ディスクトレイが閉まります。

ケーブルをつなぐ／メモリーカードを挿入する

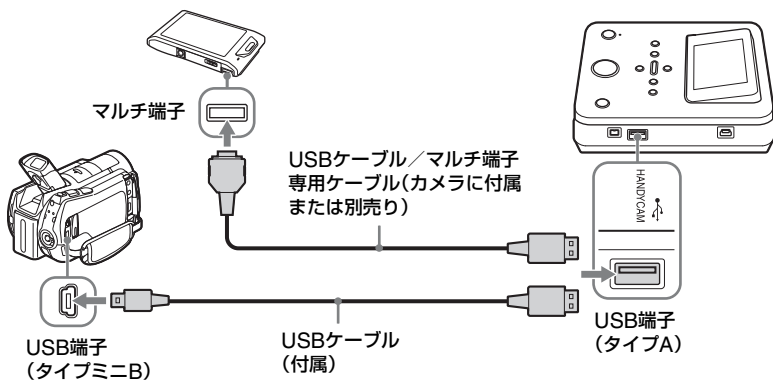
ダビングタイプ❹～❺（8ページ～16ページ）で当てはまった「接続と設定」の方法をご覧ください。

USBケーブルの接続・設定

ご注意

- カメラにACアダプターが付属しているときは、必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。
- 一度に長時間の動画をダビングする場合、時間がかかります。ACアダプターを使ってコンセントにつないでいない場合、ダビングの途中で電源が切れたり、故障の原因となることがあります。メモリーカードに動画を記録している場合は、USBケーブルでカメラをつながず、メモリーカードをメモリーカードスロットに挿入してください。

1 カメラの電源を入れる。

2 カメラを本機につなぐ。

ちょっと一言

- USB端子がカメラ本体ではなく、ハンディカムステーションやマルチ出力スタンドに搭載されている機種もあります。

ご注意

- 他社製カメラは、USBケーブルを使ってダビングすることはできません。

3 カメラ側でUSB接続を確認する。

ソニー製デジタルビデオカメラ(ハンディカムなど)の場合

[USB機能選択]画面が表示されます。ダビングする画像が記録されている記録メディアのボタンをタッチしてください。

[USB機能選択]画面で表示されるボタン名称例

記録メディア	ボタン名称例
ハードディスク	[USB接続] [パソコン接続] [パソコン接続 HDD]など
内蔵メモリー	[USB接続]など
メモリーカード	[USB接続] [パソコン接続]など

ちょっと一言

- カメラの機種によっては、カメラを本機につなぐだけでUSB接続が完了します。(カメラの画面に[USBモード]などと表示されます。)その場合は記録メディアを選ぶ操作は必要ありません。
- カメラの設定に[USB速度設定]がある場合は、あらかじめ[自動]に設定してください。(初期設定は[自動]です。)

ソニー製デジタルスチルカメラ("サイバーショット"や"α"(アルファ)など)の場合

カメラを本機につなぐだけでUSB接続が完了します。[USBモード]や[Mass Storage]と表示されます。

ちょっと一言

- カメラの設定に[USB接続]がある場合は、あらかじめ[オート]または[Mass Storage]に設定してください。(初期設定は[オート]です。)
- カメラの設定に [LUN設定] がある場合は、機種によってはあらかじめ [シングル] に設定する必要があります。(初期設定は、機種によって異なります。)
- 動作確認済みの機種については、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.jp/dvdirect/

ご注意

- 内蔵メモリーとメモリーカードを搭載するカメラを本機につなぐと、本機はUSB接続先として、メモリーカードを選びます。ただし、カメラの機種やカメラの設定によっては、内蔵メモリーを選ぶ場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧になり、[USB接続]や[LUN設定]などの設定をご確認ください。

USB充電／USB給電対応のカメラをつなぐときのご注意

- 本機にUSB充電対応のカメラをつないでも、カメラのバッテリーは充電できません。
- 本機にUSB給電カメラをつないでいるときは、他の機器やパソコンをつなぐことはできません。

DV(i.LINK)ケーブルの接続・設定

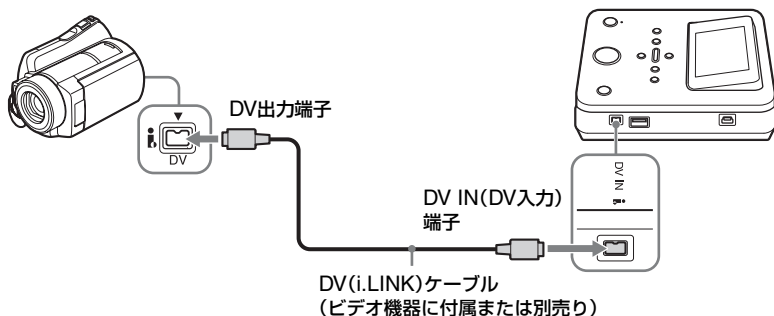
1 ビデオ機器の電源を入れる。

ご注意

- カメラにACアダプターが付属しているときは、必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

2 ビデオ機器を再生モードにする。

- 再生モードに設定する方法はお使いのビデオ機器によって異なります。(ハンディカムでは、電源スイッチを「見る/編集」や「ビデオ」などに切り換えます。)詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ハンディカムをDV端子につないで、HDV規格で撮影したハイビジョン画質(HD)の動画をダビングする場合、あらかじめハンディカムの[i.LINK DV変換]設定を[入]にしてください。ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(SD)に変換してダビングすることができます。

3 ビデオ機器を本機につなぐ。

ご注意

- MICROMVやHDV規格の動画は、DV(i.LINK)ケーブルを使ってダビングすることはできません。
- ソニー家庭用HDV/DV方式、Digital8(デジタルエイト)方式のデジタルビデオカメラ(DCR-VX700/VX1000、HDR-FX1/FX7/FX1000を除く)で接続動作を確認しています。

映像／音声ケーブル（AVケーブル）の接続・設定

1 ビデオ機器の電源を入れる。

ご注意

- カメラにACアダプターが付属しているときは、必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

2 ビデオ機器を再生モードにする。

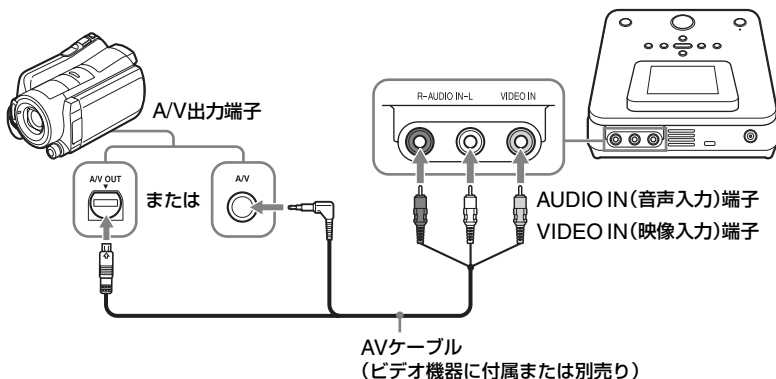
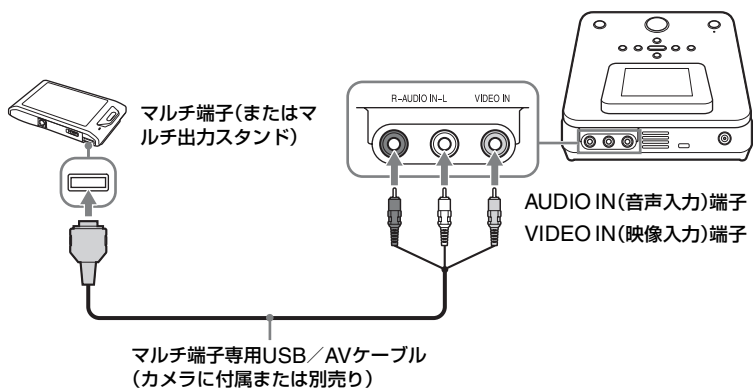
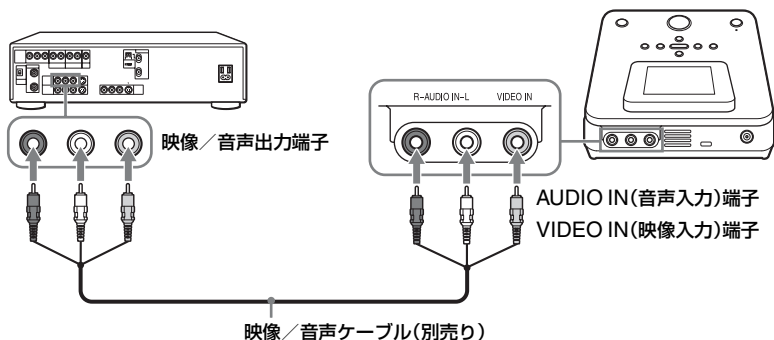
- 再生モードに設定する方法はお使いのビデオ機器によって異なります。（ハンディカムでは、電源スイッチを「見る／編集」や「ビデオ」などに切り換えます。また、複数のメディアに動画を撮影できるハンディカムでは、再生したいメディア（ハードディスク、メモリーカード、または内蔵メモリー）の選択が必要です。）詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- DVやD8テープのハンディカムは、[A/V→DV OUT]の設定を[OFF]に設定してください。（初期設定は[OFF]です。）

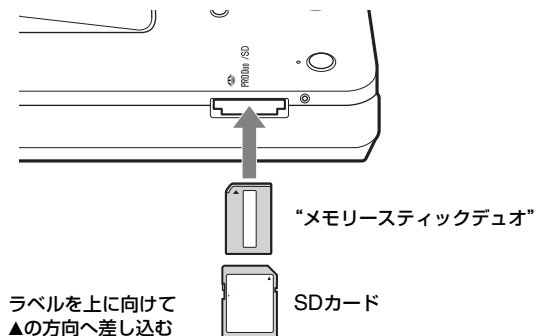
3 ビデオ機器を本機につなぐ。

映像／音声ケーブル（別売り）、AVケーブル（別売り）を使用します。

ちょっと一言

- ビデオ機器の端子はお使いの機器によって異なります。お使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧のうえ、適切なケーブルを使用してください。

A/V出力端子のあるカメラをつなぐとき

マルチ端子のあるカメラをつなぐとき

ビデオ機器をつなぐとき

各種メモリーカードの挿入

メモリーカードスロットへ、メモリーカードを挿入する。

メモリーカードをカチッという音がするまで挿入口へ押し込んでください。取り出すときには、カードを押してから引き出してください。

ご注意

- メモリーカードが正しく挿入されているか、確認してください。メモリーカードを無理に挿入すると、メモリーカード、本機の両方を破損する原因となることがあります。
- ダビング中や、メモリーカードランプが点灯している間、メモリーカードは取り出さないでください。取り出した場合、メモリーカードのデータが破損することがあります。
- 本機をご使用後、取り出したメモリーカードを触ると、少し熱く感じることがありますが、故障ではありません。

本機の操作について

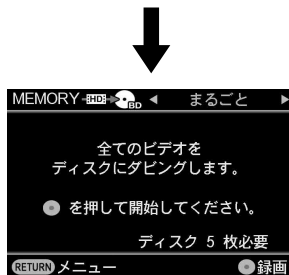
本機は、次のどちらかの方法でダビングの準備を進めることができます:
「ディスプレイのメッセージに従って操作する」(34ページ)
「[メニュー]画面から項目を選んで操作する」(36ページ)

ディスプレイのメッセージに従って操作する

本機は電源を入れると、挿入したディスクやメモリーカード、入力端子(入力信号)の状態を検出して、録画までの手順を示すメッセージをディスプレイに表示します。
このメッセージに従って操作すれば、かんたんにダビングの準備を進めることができます。

例:メモリーカードに記録したハイビジョン画質(HD)の動画をBDにダビングする場合

**メッセージに従って、BDを挿入します(27ページ)。
すでにディスクを挿入しているときは、次へ進んでください。**

**メッセージに従って、メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入します(33ページ)。
すでにメモリーカードを挿入しているときは、次へ進んでください。**

**画面左上に、入力方法と挿入したディスクの種類が表示され、確認できます。
画面右上のダビングモードを選びます(38ページ)。**

ご注意

- AVケーブルまたはDV(i.LINK)ケーブルを使ってカメラをつなぐと、本機はAVまたはDV入力端子からの映像信号を自動的に検出します。
- 本機とカメラをUSBケーブルでつないだとき、本機がカメラを検出するために、カメラ側での操作が必要になることがあります。

記録されているディスクを挿入した場合について

記録済みのディスクを挿入すると、ディスク情報が表示されます。
ENTER（選択）ボタンを押して、先へ進んでください。
ディスクを変えるには、⏏（開）ボタンを押してディスクを取り出してください。

ディスクの種類、記録してある画像の種類、ディスクの残量が表示されます。

複数の画像（種類）が保存されている場合のダビングについて

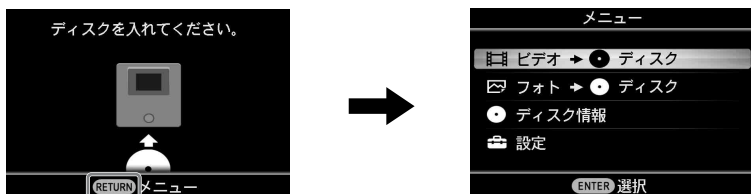
カメラやメモリーカードに複数の画像（種類）が保存されている場合、ハイビジョン画質（HD）の動画、標準画質（SD）の動画、写真の順でダビングされる画像が優先されます。一度にすべての画像をダビングすることはできません。

HD：ハイビジョン画質（HD）の動画
SD：標準画質（SD）の動画
写真：写真（JPEG、MPO、ARWファイル）

カメラやメモリーカードに保存されている画像（種類）			ダビングされる画像（種類）
HD	SD	写真	HD
HD	SD		HD
HD		写真	HD
	SD	写真	SD

画像を選んでダビングしたいときは、[メニュー]画面から目的の操作を選んでダビングしてください（36ページ）。

[メニュー]画面から項目を選んで操作する

電源を入れた後にRETURN(メニュー／戻る)を押すと、[メニュー]画面が表示されます。[メニュー]画面から目的の操作を選択してダビングの準備を進めることもできます。

RETURN(メニュー／戻る)ボタンを押します。

メニュー	機能
ビデオ➔ディスク	動画をディスクにダビングします。作成したいディスクの種類や入力端子を選べます。
フォト➔ディスク	写真をディスクにダビングします。ダビング時の入力端子を選べます。
ディスク情報	ディスク情報を表示します。作成したディスクの再生などもできます。
設定	さまざまな設定をします。

[メニュー]画面を操作して動画や写真をダビングするには

RETURN(メニュー／戻る)ボタンを押して、[メニュー]画面を表示し、以下の手順に従ってください。

1 ↑/↓で[ビデオ➔ディスク]または[フォト➔ディスク]を選ぶ。

[フォト➔ディスク]の場合、ダビングの種類を選ぶ画面は表示されません。手順3に進んでください。

2 ↑/↓でダビングの種類を選ぶ。

ハイビジョン画質(HD)の動画をハイビジョン画質(HD)のままダビングします。

ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(SD)に変換してダビングします。

標準画質(SD)の動画を標準画質(SD)のままダビングします。

3 ↑/↓で入力端子を選ぶ。

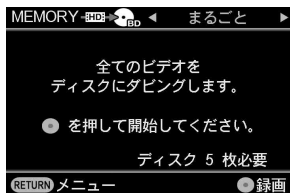
手順2で選んだダビングの種類によって、入力端子は異なります。選択できる入力端子のみ表示されます。

手順1で[フォト→ディスク]を選んだ場合、または手順2で[HD→HD]を選んだ場合は、[USB]と[メモリーカード]のみが表示されます。

手順2で[HD→SD]を選んだ場合は、[VIDEO IN]のみが表示されます。

4 ←/→でダビングモードを選ぶ。

画面右上のダビングモードを選び、⊙(ダビング/録画)ボタンを押すと、ダビングが始まります。

ダビングモードの詳細については、38ページをご覧ください。

USB 接続またはメモリーカードを挿入してダビングする BD DVD

ソニー製カメラ ハードディスク 内蔵メモリー メモリーカード

他社製カメラ メモリーカード

本機とカメラをUSBケーブルでつないだり、メモリーカードをメモリーカードスロットへ挿入すると、ハイビジョン画質(HD)の動画はハイビジョン画質のまま、標準画質(SD)の動画は標準画質のままでダビングできます。

ご注意
- あらかじめ「ダビングできる場合とダビングできない場合について」(21ページ)をご覧ください。

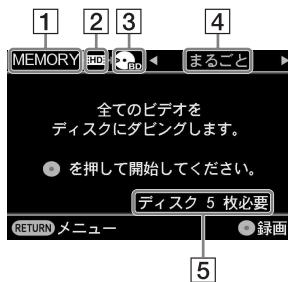
1 ダビングの準備をする。

あらかじめ本機の電源を入れ(26ページ)、ディスクの挿入(27ページ)、USBケーブルの接続と設定(28ページ)またはメモリーカードの挿入(33ページ)を済ませてください。

ご注意
- 画像や入力の種類を選んでダビングしたい場合は、[メニュー]画面から項目を選んで操作してください(36ページ)。

2 画面のメッセージを確認し、選びたいダビングモードが表示されるまで←/→を押す。

1 **入力の種類**

[USB]

本機とカメラをUSBケーブルでつないでいるときに表示されます。

[MEMORY]

本機のメモリーカードスロットにメモリーカードを挿入しているときに表示されます。

2 **画像の種類**

[HD]

ハイビジョン画質(HD)の動画をダビングするときに表示されます。

[SD]

標準画質(SD)の動画をダビングするときに表示されます。

3 **ディスクの種類**

[BD]

BDにダビングするときに表示されます。

[DVD]

DVDにダビングするときに表示されます。

4 **ダビングモード**

[**まるごと**]

(ダビング／録画)ボタンを押すだけで、接続したカメラやメモリーカードに記録されているすべての動画をダビングできます。

[**つづき**]*

前回ダビングしたあとに新しく記録された動画のみをダビングできます。

[**プレイリスト**]*

カメラで作成したプレイリストどおりにダビングできます。

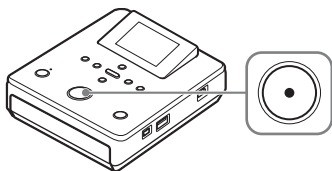
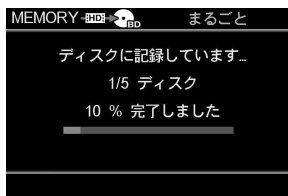
［**映像選択**］

［**サムネイルで選ぶ**］*／［**撮影日で選ぶ**］

サムネイル画像や撮影日から動画を選んでダビングできます（40ページ）。

* 他社製カメラで撮影した動画をダビングするときには選べません。

5 **必要なディスクの枚数**

3 ⊙（ダビング／録画）を押す。

ダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

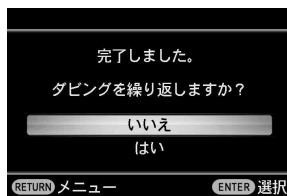
ダビングが1枚のディスクで終わらない場合

ディスクがいっぱいになると、［新しいディスクを入れてください。］というメッセージが表示され、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。

ダビングが完了したら

［完了しました。］というメッセージが表示されます。

ダビングを繰り返すには

［つづき］または［映像選択］を選んでダビングすると、同じ内容のビデオをもう一度ダビングできます。ダビングが完了したら、［完了しました。ダビングを繰り返しますか？］というメッセージが表示されます。

同じ内容のビデオをもう一度ダビングする場合は、［はい］を選んで、ディスクを取り換えます。

［自動ファイナライズ］が［オフ］に設定されていると、DVDを取り換えるときにファイナライズするかを確認するメッセージが表示されます（55ページ）。メッセージに従ってください。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに、◉（停止）ボタンを押します。

ダビング中（ディスクへ録画中）は、◉（停止）ボタンを押しても中止できません。

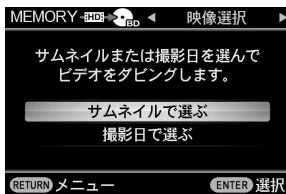
ちょっと一言

- [つづき]ダビングでは、1つのカメラまたはメモリーカードごとにつづきダビング情報を保持して、新しく撮影された動画のダビングを行います。最大10個までのカメラまたはメモリーカードのつづきダビング情報を保持することができます。
- DVDディスクは、[自動ファイナライズ]が[オン]に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します(55ページ)。

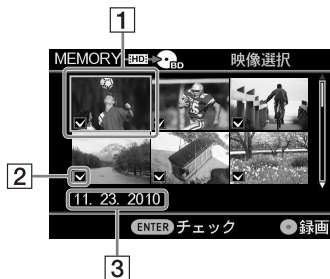
ご注意

- 手順3や「ダビングを繰り返すには」(39ページ)でディスクを取り換えるときは、最初のディスクと同じ種類の空きディスクを挿入してください。

[映像選択]でダビングするには

手順2(38ページ)でダビングモードの[映像選択]を選んだ場合は、[サムネイルで選ぶ]または[撮影日で選ぶ]を選んでください。

1 ↑/↓で[サムネイルで選ぶ]または[撮影日で選ぶ]を選び、ENTER(選択)を押す。

2 ←/↑/↓/→でダビングしたい画像または撮影日を選び、ENTER(選択)を押しチェックマークを付ける。

ENTER(選択)ボタンを繰り返し押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

1 **選んでいる画像**

2 **チェックマーク**

3 **撮影日**

3 ⊙(ダビング/録画)を押す。

ダビングが始まります。

つづきの手順については、39ページの手順3以降をご覧ください。

1枚のディスクに収まらない場合

必要なディスクの枚数と確認のメッセージが表示されます。ダビングを始めるには「はい」を選んでください。

ご注意

- 多数の動画があったり、動画のファイルサイズが大きい場合は、画像を表示するのに時間がかかります。
- 画像に⊘が表示されている動画*はダビングできません。

* ソニー製カメラの[HD FX]モードなど18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影されたハイビジョン画質(HD)の動画(DVDディスクに録画する場合)や、1080/60p映像、3D映像など

ワンタッチダビング BD DVD

ソニー製カメラ ハードディスク 内蔵メモリー メモリーカード

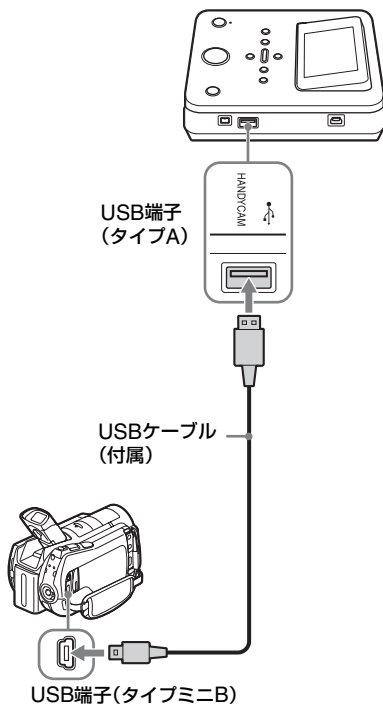
カメラのワンタッチディスクボタンを押すだけで、撮影した動画を簡単にダビングできます。つづきダビング(38ページ)と同様、前回ダビングしたあとに新しく撮影された動画のみをダビングできます。

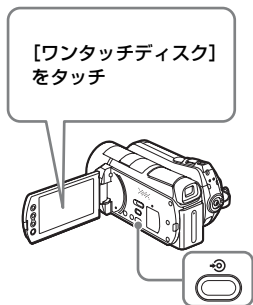
1 本機の電源を入れ(26ページ)、ディスクを本機に挿入する(27ページ)。

2 カメラの電源を入れる。

ご注意

- カメラにACアダプターが付属しているときは、必ずACアダプターを使ってコンセントにつないでください。

3 カメラを本機につなぐ。

カメラの液晶画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

4 カメラの画面の[ワンタッチディスク]をタッチする。またはカメラ本体やハンディカムステーションのワンタッチディスクボタン（ ）を押す。

ダビングが始まります。

ハイビジョン画質（HD）と標準画質（SD）の動画が両方撮影されているときは

ハイビジョン画質（HD）の動画をディスクにダビングします（35ページ）。

ご注意

- お使いのカメラによって、画面上や本体ボタンの名称や絵が異なることがあります（例[ワンタッチDVD]など）。
- ワンタッチダビングに対応する記録メディアの種類は、カメラによって異なります。例えば、ハードディスクとメモリーカードを搭載するハンディカムをつないでワンタッチダビングを行うと、ハードディスクに保存された動画をダビングできますが、メモリーカードに保存された動画はダビングできません。

ダビングが1枚のディスクで終わらない場合

ディスクがいっぱいになると、[新しいディスクを入れてください。]というメッセージが表示され、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。

ダビングが完了したら

[完了しました。]というメッセージが表示されます。

その他の操作などについては、39ページをご覧ください。

DV(i.LINK)接続でダビングする DVD

ソニー製カメラ　DVテープ

他社製カメラ　DVテープ

本機とカメラをDV (i.LINK)ケーブルでつないで、DVテープに撮影された動画をディスクにダビングできます。

1 ダビングの準備をする。

あらかじめ本機の電源を入れ(26ページ)、ディスクの挿入(27ページ)、DV (i.LINK)ケーブルの接続と設定(30ページ)を済ませてください。

ちょっと一言

- ダビングの準備を正しく済ませていれば、DV IN端子からの映像信号を検出して、自動的に手順5の画面を表示します。手順2～4を行う必要はありません。

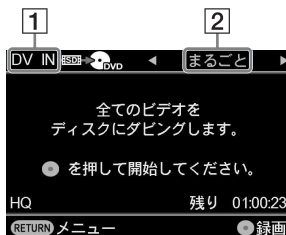
2 RETURN(メニュー／戻る)を押す。

[メニュー]画面が表示されます。

3 [ビデオ➔ディスク]を選び、ENTER(選択)を押す。

4 ⬆/⬇で[SD➔SD]を選び、ENTER(選択)を押す。

5 ⬆/⬇で[DV IN]を選び、ENTER(選択)を押す。

6 選びたいダビングモードが表示されるまで⬅/➡を押す。

1 **入力の種類**

［DV IN］

本機とカメラをDV（i.LINK）ケーブルでつないでいるとき、入力選択画面で［DV IN］を選択しているときに表示されます。

2 **ダビングモード**

［**まるごと**］

⊙（ダビング／録画）を押すだけで、テープに撮影されたすべての動画をダビングできます。本機がカメラの再生を自動で操作します。

［**マニュアル**］

カメラの動画を手動で再生しながらディスクにダビングできます。

7 ⊙（ダビング／録画）を押す。

カメラが再生されると同時に、ダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

ちょっと一言

- ビデオテープは自動的に最初まで巻き戻され、ダビングが始まります。

ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙（ダビング／録画）ボタンを押します。

再開するには、もう一度⊙（ダビング／録画）ボタンを押してください。

ダビングを中止するには

ダビング中に◉（停止）ボタンを押します。

ダビングを中止して手順6の画面に戻ります。

ダビングが完了したら

［完了しました。］というメッセージが表示されます。

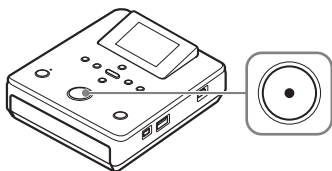
ちょっと一言

- テープの終わりや2分間以上の空き部分を検出すると、自動的にダビングを終了します。
- ［自動ファイナライズ］が［オン］に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（55ページ）。
- ［自動ファイナライズ］が［オフ］に設定されていると、⏏（開）ボタンを押してディスクを取り出すときに、ファイナライズするかを確認するメッセージが表示されます（55ページ）。メッセージに従ってください。

[マニュアル]でダビングするには

1 ←/→で[マニュアル]を選ぶ。

ちょっと一言
- 空きディスクを挿入し、[新しいディスクが挿入されました。ディスクを初期化します。]と表示された場合は、ENTER(選択)ボタンを押し、先に進んでください。

2 カメラを操作して動画を再生しながら、本機の⊙(ダビング／録画)を押す。

ダビング中は以下の画面が表示されます。

ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙(ダビング／録画)ボタンを押します。

再開するには、もう一度⊙(ダビング／録画)ボタンを押してください。

ちょっと一言
- 本機はビデオ機器からの映像信号を検出しながら自動でダビングを開始／停止します。例えば、以下のように動作します。
  - ビデオ機器の再生を始める前に本機の⊙(ダビング／録画)ボタンを押すと、映像信号が入力されるまで本機はダビングを開始せずに待機します。あとで再生を始めると、本機も自動でダビングを開始します。
  - ダビング中にビデオ機器の再生を停止すると、映像信号が途切れ本機はダビングを一時中断します。再び再生を始めると本機もダビングを再開します。

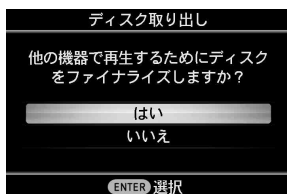
  このようにダビングを開始せず映像信号を待っているときは、本機の画面に「入力信号を待っています。」と表示されます。2分間この状態が続くと、本機はダビングを停止します。(ただし、ビデオ機器によっては、再生時以外にも機器の操作画面やテレビ番組などの映像信号を常に出力しているため、上記のように動作しないことがあります。)

3 ◉(停止)を押し、ダビングを停止する。

4 ダビングを続けるときは、手順2〜3をくり返す。

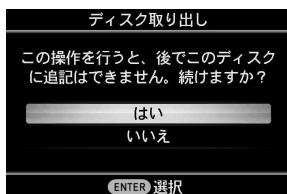
5 ダビングが完了したら、⏏(開)を押す。

ファイナライズするかを確認するメッセージが表示されます。

6 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズをしない場合は[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ](55ページ)をご覧ください。

7 ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ご注意

- ディスクを入れ、10分以上放置してからダビングを開始すると、⊙(ダビング／録画)ボタンを押してから実際に動画がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングするときはディスク挿入後すみやかに開始してください。
- ◼(停止)ボタンを押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。
- ⊙を押して、ダビングを開始するまでには少し遅れを生じることがあります。

AV接続でダビングする DVD

ソニー製カメラ　他社製カメラ　一般ビデオ機器

本機とカメラやビデオ機器をAVケーブルでつないで、カメラやビデオ機器の動画をディスクにダビングできます。
ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（SD）に変換して、ディスクにダビングできます。作成したディスクは、ほとんどのDVDプレーヤーで再生できます。

1 ダビングの準備をする。

あらかじめ本機の電源を入れ（26ページ）、ディスクの挿入（27ページ）、AVケーブルの接続と設定（31ページ）を済ませてください。

ちょっと一言

- ダビングの準備を正しく済ませていれば、映像入力端子からの映像信号を検出して、自動的に手順5の画面を表示します。手順2〜4を行う必要はありません。

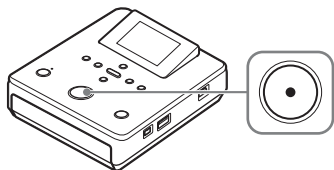
2 RETURN（メニュー／戻る）を押す。

［メニュー］画面が表示されます。

3 ［ビデオ➔ディスク］を選び、ENTER（選択）を押す。

4 ↑/↓で［SD➔SD］（または［HD➔SD］）を選び、ENTER（選択）を押す。

5 ↑/↓で［VIDEO IN］を選び、ENTER（選択）を押す。

6 カメラを操作して動画を再生しながら、本機の⊙（ダビング／録画）を押す。

ダビング中は以下の画面が表示されます。

ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙(ダビング/録画)ボタンを押します。

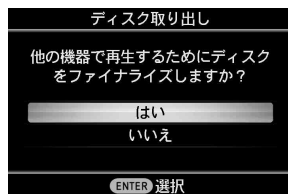
再開するには、もう一度⊙(ダビング/録画)ボタンを押してください。

7 ⊡(停止)を押し、ダビングを停止する。

8 ダビングを続けるときは、手順6〜7をくり返す。

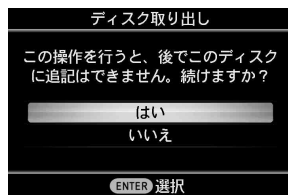
9 ダビングが完了したら、⏏(開)を押す。

ファイナライズするかを確認するメッセージが表示されます。

10 ファイナライズしてディスクを完成するときは、↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズをしない場合は[いいえ]を選ぶとディスクトレイが開きます。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、ダビングしたディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。詳しくは、[ファイナライズ](55ページ)をご覧ください。

11 ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。

ご注意

- ディスクを入れ、10分以上放置してからダビングを開始すると、⊙(ダビング/録画)ボタンを押してから実際に動画がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングするときはディスク挿入後すみやかに開始してください。
- ⊡(停止)ボタンを押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。

写真をダビングする BD DVD

ソニー製カメラ　ハードディスク　内蔵メモリー　メモリーカード

他社製カメラ　メモリーカード

(ダビング／録画)ボタンを押すだけで、カメラ接続時に選んだメディア、または本機に挿入したメモリーカードの中のすべての写真をダビングできます。
サムネイル画像から写真を選んでダビングすることもできます。

ご注意
- あらかじめ「ダビングできる場合とダビングできない場合について」(21ページ)をご覧ください。

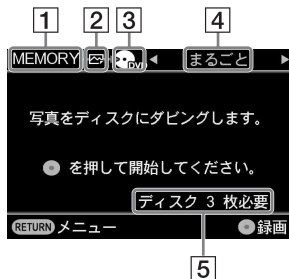
1 ダビングの準備をする。

あらかじめ本機の電源を入れ(26ページ)、ディスクの挿入(27ページ)、USBケーブルの接続と設定(28ページ)またはメモリーカードの挿入(33ページ)を済ませてください。

ご注意
- 画像や入力の種類を選んでダビングしたい場合は、[メニュー]画面から項目を選んで操作してください(36ページ)。

2 画面のメッセージを確認し、選びたいダビングモードが表示されるまで←/→を押す。

1 **入力の種類**

[USB]

本機とカメラをUSBケーブルでつないでいるときに表示されます。

[MEMORY]

本機のメモリーカードスロットにメモリーカードを挿入しているときに表示されます。

2 **画像の種類**

[ ]

写真をダビングするときに表示されます。

3 **ディスクの種類**

[BD]

BDにダビングするときに表示されます。

[DVD]

DVDにダビングするときに表示されます。

4 **ダビングモード**

[まるごと]

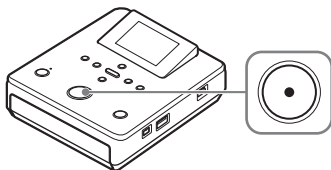
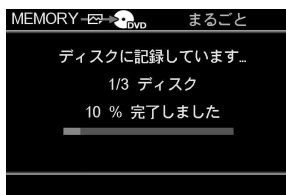
(ダビング／録画)ボタンを押すだけで、接続したカメラやメモリーカードに記録されているすべての写真をダビングできます。

[写真選択]

[サムネイルで選ぶ]／[撮影日で選ぶ]

サムネイル画像や撮影日から写真を選んでダビングできます(51ページ)。

5 **必要なディスクの枚数**

3 ⊙（ダビング／録画）を押す。

ダビングが始まります。ダビング中は以下の画面が表示されます。

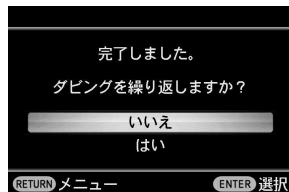
ダビングが1枚のディスクで終わらない場合

ディスクがいっぱいになると、[新しいディスクを入れてください。]というメッセージが表示され、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。

ダビングが完了したら

[完了しました。]というメッセージが表示されます。

ダビングを繰り返すには

[写真選択]を選んでダビングすると、同じ内容の写真をもう一度ダビングできます。ダビングが完了したら、[完了しました。ダビングを繰り返しますか？]というメッセージが表示されます。

同じ内容の写真をもう一度ダビングする場合は、[はい]を選んで、ディスクを取り換えます。

[自動ファイナライズ]が[オフ]に設定されていると、DVDを取り換えるときにファイナライズするかを確認するメッセージが表示されます（55ページ）。メッセージに従ってください。

ダビングを中止するには

ディスクを交換するときに⊡（停止）ボタンを押します。

ダビング中（ディスクへ録画中）は、⊡（停止）ボタンを押しても中止できません。

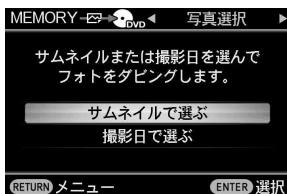
ちょっと一言

- DVDディスクは、[自動ファイナライズ]が[オン]に設定されていると、自動的にファイナライズしてディスクが完成します（55ページ）。
- 本機は、カメラやメモリーカードの第8階層までを認識し、写真をダビングします。

ご注意

- 手順3や「ダビングを繰り返すには」（50ページ）でディスクを取り換えるときは、最初のディスクと同じ種類の空きディスクを挿入してください。

[写真選択]でダビングするには

手順2(49ページ)でダビングモードの[写真選択]を選んだ場合は、[サムネイルで選ぶ]または[撮影日で選ぶ]を選んでください。

1 ↑/↓で[サムネイルで選ぶ]または[撮影日で選ぶ]を選び、ENTER(選択)を押す。

2 ←/↑/↓/→でダビングしたい画像または撮影日を選び、ENTER(選択)を押しチェックマークを付ける。

ENTER(選択)ボタンを繰り返し押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

1 **チェックマーク**

2 **[3D]**

3D写真(.mpoファイル)に表示されます。

3 **[RAW]**

RAW規格の写真(.arwファイル)に表示されます。

4 **撮影日**

3 ⊙(ダビング/録画)を押す。

ダビングが始まります。

つづきの手順については、50ページの手順3以降をご覧ください。

1枚のディスクに収まらない場合

必要なディスクの枚数と確認のメッセージが表示されます。ダビングを始めるには「はい」を選んでください。

ちょっと一言

- サムネイル画像が表示されているときに、写真を選び ■ (停止)ボタンを押すと、選んだ写真が1枚表示されます。そのあと→を押すたびに、写真を右に90度ずつ回転し、←を押すたびに写真を左に90度ずつ回転します。(JPEGファイルのみ)

ご注意

- サムネイル画像が表示されない写真ファイルもあります。その場合、 が表示されます。
- 多数の写真がある場合、画像を表示するのに時間がかかります。
- 3D写真(またはRAW規格の写真)とJPEGファイルに、DSC001.mpo (DSC001.arw)とDSC001.jpgのように、同じ番号がついている場合、片方のサムネイル画像のみが表示されます。ダビング時には、3D写真(またはRAW規格の写真)とJPEGファイルの両方がダビングされます。

ディスク情報を確認する
動画／写真をプレビューする

本機でダビングしたディスクの種類や容量などの情報を確認できます。標準画質（SD）の動画や写真は本機のディスプレイで再生できます。

ご注意
- 本機以外の機器でダビングしたディスクや市販のDVDビデオソフト、メモリーカードを本機に挿入して、画像を再生することはできません。
- 再生中、音声は出ません。
- テレビなどとつないで再生することはできません。
- ハイビジョン画質（HD）のディスクは再生できません。

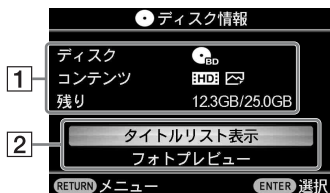
1 本機の電源を入れ、本機でダビングしたディスクを挿入する。

ちょっと一言
- 電源を入れた後に、ファイナライズされたディスクを挿入した場合、［ディスク情報］画面が表示されます。手順2～3を行う必要はありません。

2 RETURN（メニュー／戻る）を押す。

［メニュー］画面が表示されます。

3 ↑/↓で［ディスク情報］を選び、ENTER（選択）を押す。

ディスク情報が表示されます。

1 **ディスク情報**

［**ディスク**］
ディスクの種類を表示します。

［**コンテンツ**］
ディスクに記録されている内容を表示します。

HD　ハイビジョン画質（HD）の動画
SD　標準画質（SD）の動画
　写真

［**残り**］*（残量／総量）
ディスクの残量を表示します。

* 表示される残量は、目安としてください。

2 **プレビューする項目**

プレビューできる項目が表示されます。ダビングしたディスクによって表示される項目は異なります。

［**タイトルリスト表示**］
ハイビジョン画質（HD）の動画のタイトルリストを表示します。

［**ビデオプレビュー**］
標準画質（SD）の動画をプレビューします。

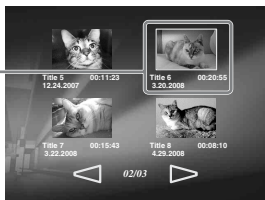
［**フォトプレビュー**］
写真をプレビューします。

タイトルリストを表示するには

↑/↓で[タイトルリスト表示]を選び、ENTER(選択)ボタンを押します。
ハイビジョン画質(HD)の動画の撮影日のリストが表示されます。ハイビジョン画質(HD)の動画はプレビューできません。

標準画質(SD)の動画をプレビューするには

↑/↓で[ビデオプレビュー]を選び、ENTER(選択)ボタンを押します。
ディスクメニューが表示されます。ファイナライズしていないディスクを挿入した場合、ディスクメニューは表示されず、プレビューが始まります。

選んでいるタイトル

←/↑/↓/→でプレビューしたいタイトルを選び、ENTER(選択)ボタンを押します。選んだタイトルのプレビューが始まります。

プレビュー中の操作について

ボタン	操作
◉	プレビューを停止する
←/→	前／次のタイトルを表示
RETURN	ディスクメニューまたは本機の[メニュー]画面へ戻る

写真をプレビューするには

↑/↓で[フォトプレビュー]を選び、ENTER(選択)ボタンを押します。
写真が表示されます。

プレビュー中の操作について

ボタン	操作
↑/↓	次／前の写真を表示
◉/ RETURN	本機の[メニュー]画面へ戻る

ご注意

- 画像が表示されない写真ファイルもあります。その場合、[画像アイコン]が表示されます。
- 3D写真(またはRAW規格の写真)とJPEGファイルに、DSC001.mpo (DSC001.arw)とDSC001.jpgのように、同じ番号がついている場合、片方の画像のみが表示されます。

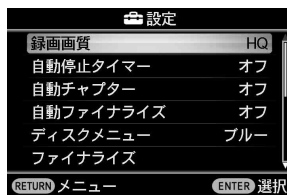
設定メニューを使う

設定メニューでは、本機のさまざまな機能や動作をお好みに合わせて変更できます。

1 本機の電源を入れ、RETURN（メニュー／戻る）を押す。

［メニュー］画面が表示されます。

2 ↑/↓で［設定］を選び、ENTER（選択）を押す。

3 ↑/↓で確認・変更したい項目を選び、ENTER（選択）を押す。

→マークはお買い上げ時の設定です。

録画画質（録画モード）

ダビングするときの画質を選びます。
DV入力端子または映像入力端子を使ってダビングする場合のみ有効です。

→ HQ
最高画質でダビングします。

HSP
高画質でダビングします。

SP
標準的な画質でダビングします。

LP
標準より少し劣る画質でダビングします。

ちょっと一言

- 録画モードによってディスクにダビングできる時間は異なります（69ページ）。

自動停止タイマー

ダビングするときに、自動的にダビングを停止する時間を選びます。
映像入力端子を使ってダビングする場合のみ有効です。

→ オフ
自動的に停止しません。

30分～4時間
ダビング開始後、設定した時間が経過すると、自動的にダビングが停止します。30分、60分、90分、2時間、3時間、4時間から選びます。

ご注意

- 次の場合、［自動停止タイマー］設定は解除されます。
  - ダビングが終了したとき
  - ダビング中に ■（停止）ボタンを押したとき
  - 本機の電源を切ったとき

自動チャプター

ディスクに自動で記録するチャプターの間隔を設定します。
DV入力端子または映像入力端子を使ってダビングする場合のみ有効です。

オフ
チャプターで区切りません。

→ 5分
約5分間隔でチャプターを区切ります。

10分
約10分間隔でチャプターを区切ります。

15分
約15分間隔でチャプターを区切ります。

自動ファイナライズ

DVD

他の機器で再生できるようにするための処理（ファイナライズ）を、ディスクへのダビングが終わったあとに引き続き自動で行うかどうかを設定します。この設定は、DVDにダビングしたときのみ適用されます。

→ オン
ディスクへのダビングのあとに自動でファイナライズします。ファイナライズしたディスクは他の機器で再生できます。

オフ
ファイナライズしないでダビングを完了します。ファイナライズしていないディスクには動画や写真を追記できます。

ディスクのファイナライズについて、詳しくは[ファイナライズ]（55ページ）をご覧ください。

ご注意

- まるごとダビングなどでディスクが複数枚にわたる場合、[自動ファイナライズ]の設定にかかわらず、最後の1枚以外のディスクは自動でファイナライズされます。
- 映像入力端子を使ってのダビングとDV入力端子を使ってのマニュアルダビングの場合、[自動ファイナライズ]が[オン]になっていても自動ではファイナライズされません。

ディスクメニュー

DVD BD

本機でダビングしたディスクに使うディスクメニューの背景画像を、用意されている4種類の画像から選びます。

→ ブルー

チェッカー

ピンク

マーブル

ファイナライズ

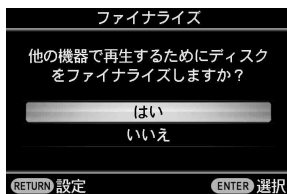
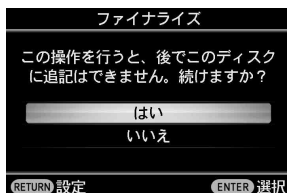
DVD

ファイナライズせずに取り出したディスクを、あとでファイナライズできます。
ディスクがDVDの場合のみ実行できます。

ちょっと一言

- ファイナライズとは、他の機器でディスクを再生できるようにするための処理です。本機でファイナライズしないと他の機器では再生できません。
- ファイナライズしたディスクに、動画や写真を後で追記することはできません。

① ファイナライズしたいディスクを入れ、↑/↓で[ファイナライズ]を選び、ENTER（選択）を押す。

② ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

③ ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。

ファイナライズが始まります。
「完了しました。」と表示されたら、ファイナライズは終了です。

ご注意
- ファイナライズには数分かかります。ディスクの内容によっては、時間がかかります。

ディスクの消去

DVD-RWやDVD+RW、BD-REに記録したすべての画像を消去します。ディスクは空きディスクとして再利用できます。

ご注意
- この操作では、すべてのデータを消去するのでご注意ください。

① 消去したいディスクを入れ、↑/↓で[ディスクの消去]を選び、ENTER(選択)を押す。
[ディスクを消去しますか？]と表示されます。

② ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。
[ディスクの内容は失われます。本当に消去しますか？]と表示されます。

③ ↑/↓で[はい]を選び、ENTER(選択)を押す。
ディスクの消去が始まります。
「完了しました。」と表示されたら、消去は終了です。

BD-Rクローズ

BD

追加記録や編集ができないようにBD-Rをクローズ設定できます。一度クローズすると、動画や写真の追記はできません。
画面のメッセージに従って操作してください。

システム情報

本機のシステムソフトウェアのバージョンを確認できます。また[設定のリセット]を実行すると、本機の設定項目をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
ENTER(選択)ボタンを押すと、[システムをリセットしますか？]と表示されます。
[はい]を選び、ENTER(選択)ボタンを押します。リセットが始まり、すぐに[完了しました。]と表示されます。

ちょっと一言
- システムソフトウェアとは、本機を動作させる内蔵ソフトウェアです。
- [設定のリセット]を実行すると、つづきダビングのために保存された情報なども消去されます。

自動電源停止

電源を入れて、2時間以上本機を操作しないと自動的に電源が切れます。

➜ **オフ**
電源は切れません。

オン
自動的に電源が切れます。

デモ

本機を一定時間操作しないと、デモが自動的に画面に表示されます。

オフ
デモを行いません。

➜ **オン**
デモを行います。

カラーシステム

撮影に使用したカメラのカラーシステム方式や、本機に接続するビデオ機器からの出力信号など、コピーするビデオのカラーシステムと同じカラーシステムに設定します。

➜ NTSC
カラーシステムがNTSC方式のカメラで撮影されたビデオをディスクに録画する時は、この設定にします。

PAL
カラーシステムがPAL方式のカメラで撮影されたビデオをディスクに録画する時は、この設定にします。

ご注意

- カラーシステムの設定は、通常は変更しないでください。日本国内向けに発売されているビデオ機器のカラーシステムはNTSCです。日本国内では、[NTSC]に設定してご使用ください。
- 接続するビデオ機器のカラーシステムと、本機のカラーシステム設定が異なると、ダビングできません。
- 再生に使用する機器のカラーシステムと、本機でダビングしたディスクのカラーシステム設定が異なると、再生はできません。

言語(Language)

画面に表示する言語を選びます。

パソコンにつなぐ

付属のUSBケーブルを使って、本機とパソコンをつなぎきます。

1 付属の電源コード、ACアダプターと本機をつなぐ（26ページ）。

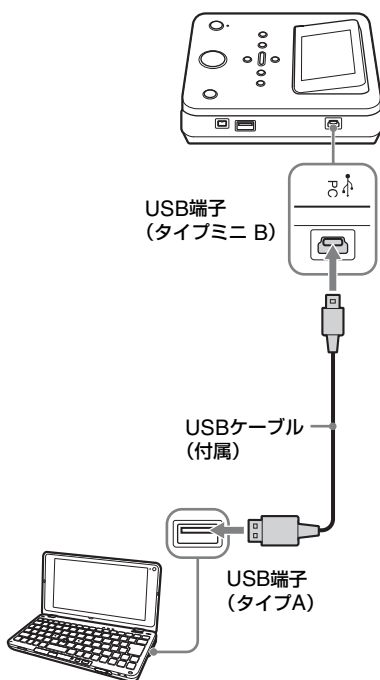
2 本機の電源を入れる。

3 パソコンの電源を入れる。

4 パソコンに本機をつなぐ。

本機がパソコンに認識されます。画面に[PCモード]と表示されます。

ご注意

- ダビング中や設定の操作、ディスク情報の確認などをしているときは、本機をパソコンにつなぐことはできません。パソコンとの接続は、本機の電源を入れてすぐか、または[メニュー]画面が表示されているときに行ってください。
- 本機の電源を入れた時に、メモリーカードやディスクが挿入されていたりカメラが接続されていると、本機がそれらを検出して、自動的に他の操作へ進むことがあります。この場合、RETURN（メニュー／戻る）ボタンを押し、[メニュー]画面を表示してから、パソコンにつないでください。

ちょっと一言

- 本機をパソコンに初めてつないだときは、本機が認識されるまで、しばらく時間がかかります。

5 [スタート]をクリックして[マイコンピュータ]をクリックし、[マイコンピュータ]画面に （本機）の表示が追加されていることを確認する。

ご注意

- パソコンのOSによって、操作方法や表示されるアイコンは異なります。

パソコンから取りはずす

本機がパソコンに認識されているときは、タスクバーに が表示されます。本機をパソコンから取りはずす場合は、 を使います。

ご注意
- パソコンのOSによって、操作方法や表示されるアイコンは異なります。

1 タスクバーの をクリックする。

［USB大容量記憶装置デバイス・ドライブを安全に取り外します］と表示されます。

2 ［USB大容量記憶装置デバイス・ドライブを安全に取り外します。］をクリックする。

［USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。］と表示されます。

3 USBケーブルを抜く。

4 本機の電源を切る。

ご注意
- パソコンから外した後、ダビングをするなどレコーダーとして使う場合は、本機の電源を一度切ってからご使用ください。

外付けディスクドライブとして使う

本機をパソコンの外付けドライブとして使用する場合、利用できるWindowsの機能はそのバージョンやエディションによって異なります。また、機能によっては市販のBD/DVD/CDドライブ用ソフトウエアをインストールする必要があります。（BD/DVD/CDドライブ用ソフトウエアは同梱されていません。）
外付けドライブとして使う場合の必要な条件など、詳しくは、以下の表をご覧ください。詳しい操作方法については、Windowsの「ヘルプとサポート」や、使用するソフトウエアの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

Windowsの機能について

データを読み取る／書き込む

OS		ディスクのファイルを読み取る	ディスクにファイルを書き込む
Windows 7 Windows Vista (SP2)	BD	✓	✓
	DVD	✓	✓
	CD	✓	✓
Windows XP (SP3)	BD	✓*1*2	✓*1
	DVD	✓*1*2	✓*1
	CD	✓	✓

✓：Windows 対応
*1 対応するソフトウェアを必要とします。
*2 ソニー製カメラに付属のソフトウエア“PMB”(Picture Motion Browser) を使用する場合、“PMB”のバージョンによってはBDやDVD(AVCHDディスク)をWindows XPのパソコンで認識するために追加でプラグイン(UDF リーダー)をインストールする必要があります。詳しくは“PMB”のヘルプやサポート情報をご覧ください。

ディスクを再生する／BD/DVDプレーヤーと互換性のあるディスクを作成する

OS		再生／作成
Windows 7 Windows Vista Windows XP	DVD	Windowsのエディションによって異なります。
	AVCHD disc	対応するソフトウェアを必要とします。
	BD	対応するソフトウェアを必要とします。

ちょっと一言
- 利用できる主なソフトウェアとそのバージョン(2011年4月現在)
  - ディスクにファイルを書き込む　Power2Go(サイバーリンク製)
  - AVCHDディスクの再生　AVCHD ver.5.3対応プレーヤー(ソニー製)
  - AVCHDディスクの作成　PMB (Picture Motion Browser) ver.5.3(ソニー製)
  - DVD/BDの再生　Power DVD 9(サイバーリンク製)
  - DVD/BDの作成　Power Producer 5(サイバーリンク製)

ご注意

- ここに記されている情報は、参考のためのものであり、Windows、ソフトウェア、および本機の操作や機能についての保証はしていません。
- ソフトウェアを使用する場合は、本機で指定している要件と同様に、ソフトウェアのシステム要件を満たす必要があります。
- ソフトウェアは常に最新のバージョンにアップデートしてご使用ください。
- 本機をレコーダーとして使う場合、パソコンで記録や消去をしたディスクは使えません。DVD+RW、DVD-RW、BD-REについては、本機で[ディスクの消去]を行ってください(56ページ)。

故障かな？と思ったら

ソニーの相談窓口にご相談になる前に、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、お使いのカメラやビデオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

こんなときは

ハイビジョン画質(HD)で撮影したカメラの動画を標準画質(SD)に変換してダビングするには？

- カメラと本機を、AVケーブルでつないでください(31ページ)。USBケーブルは使用できません。

入力を切り換えるには？(機器を接続した入力端子を選択するには？)

- 本機は、接続した機器からの入力信号を検出して、自動的に入力端子を選択します。接続する機器の電源を入れ、ダビングの準備を行ってください。
- 手動で入力端子を切り換えるには、[メニュー]画面から操作してください。

電源について

電源が入らない。

- 電源プラグがしっかり差し込まれているか確認してください(26ページ)。
- 電源プラグを抜き、つないでいるビデオ機器やメモリーカードをはずして、すべての操作を最初からやり直してください。

電源が切れない(パソコンに接続時)。

- 本機とパソコンをつないでいるときは、⏻(電源)は機能しません。正しい手順でパソコンから取りはずし(59ページ)、⏻(電源)を押してください。

接続と操作について

カメラをUSBケーブルでつないでも操作できない。

- 対応するソニー製カメラを使用しているかどうか確認してください。
- カメラ側で、USB接続の操作や設定が正しく行われているかどうか確認してください(28ページ)。
- 本機からUSBケーブルを抜き、本機とカメラの電源を入れ直してから操作を行ってください。
- ディスプレイのメッセージに従えば、本機はカメラやメモリーカードに記録された画質(HDまたはSD)を検出して自動的に操作します。ディスプレイ表示に従って操作してください。
- 入力端子が[USB]になっているか確認してください。手動で入力を選択するには、[メニュー]画面から操作してください(36ページ)。

カメラをDV(i.LINK)ケーブルでつないでも操作できない。

- カメラを再生モードに切り換えているかどうか確認してください。撮影モードではダビングできません(30ページ)。
- 本機からDV(i.LINK)ケーブルを抜き、本機とカメラの電源を入れ直してから操作を行ってください。

本機のVIDEO IN端子につないだビデオ機器からの動画が、本機のディスプレイに映らない。

- 本機につないでいる映像／音声ケーブルが、ビデオ機器側の出力端子につないであることを確認してください。
- ビデオ機器から映像信号が出力されていません。ビデオ機器の電源を入れ、必要な設定や再生などの操作を行ってください。

- 入力端子が[VIDEO IN]になっているか確認してください。手動で入力を選択するには、[メニュー]画面から操作してください(36ページ)。
- 本機からすべてのケーブルを抜き、本機とビデオ機器の電源を入れ直してから操作を行ってください。

ダビングの操作画面で、必要なディスク枚数が表示されない。

- ダビングする画像の数が多いと、表示するまで時間がかかります。

[ディスク情報]に表示されるディスクの総量が画像を記録する前後で違っている。

- DVDやBDの総量は、画像を記録したり、ディスクを初期化したりすると減少します。

本機にディスクを挿入すると、本機から動作音がする。

- ディスクチェックなどを行っている読み込み音です。故障ではありません。

ディスクの再生

ダビングしたディスクを、他のビデオ機器で再生できない。

- ディスクがDVDの場合、ファイナライズされていない可能性があります。本機で[ファイナライズ]を行ってください(55ページ)。
- ディスクと機器の組み合わせによっては、正しく再生できないことがあります。
- ご使用の機器が、ダビングしたディスクの種類に対応していない可能性があります。ご使用の機器が対応する記録型ディスクの種類を確認してください。

DVDにダビングしたハイビジョン画質(HD)の動画を、他の機器で再生できない。

- ハイビジョン画質(HD)の動画は、一般のDVD機器では再生できません。ハイビジョン画質(HD)の動画は、AVCHD規格の再生に対応する機器(ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなど)で再生できます(70ページ)。

ディスクにダビングした写真が他の機器で再生できない。

- JPEGファイルの再生に対応していない機器では再生できません。

画面メッセージの例

本機が対応するディスクを入れてください。

- 本機が対応していないディスクが挿入されています。対応するディスクを入れてください(66ページ)。
- 他の機器でダビングしたBD-REやDVD-RW、DVD+RWディスクを挿入した場合、そのままでは使用できません。本機で[ディスクの消去]を行ってください(56ページ)。

新しいディスクが挿入されました。ディスクを初期化します。

- DVケーブル接続の[マニュアル]モードでダビングするとき、またはAVケーブル接続でダビングするときは、新しいディスクは初期化の必要があります。ENTER(選択)ボタンを押して、先へ進んでください。初期化したディスクには、標準画質(SD)の動画や写真をダビングできます。

選択された操作では、このディスクに記録することができません。

- 接続やダビングの種類によっては、使用できるディスクの種類が異なります（21、66ページ）。
  例：
  – USBケーブルで接続したカメラに記録された標準画質（SD）の動画は、DVD+R DLにはダビングできません。
  – 標準画質（SD）の動画は、BD-RやBD-REにはダビングできません。
  – 標準画質（SD）の動画は、ハイビジョン画質（HD）の動画がすでに記録されているディスクには追記できません。

写真が多すぎます。上限の枚数まで取り込みます。

- 写真データの種類や大きさによって、一度に取り込める写真の枚数は異なります（最大9999枚）。

録画できる画像がありません。

- カメラまたはメモリーカードに、本機でダビングできる動画や写真が入っていません。
- カメラやメモリーカードにはハイビジョン画質（HD）の動画が記録されているが、本機で標準画質（SD）の動画のダビングを選んでいるかもしれません（逆の場合も同じ）。［メニュー］画面から設定をやり直してください。

ディスクがいっぱいです。

- ディスクに空き容量があっても、動画のタイトル数や写真の枚数が、録画できる最大数に達した可能性があります。
- 使いかたによっては、ディスクの容量いっぱいまで録画できないことがあります。

ダビングに対応しない動画が含まれています。それ以外の動画をダビングしますか？

- ［HD FX］モードのような18Mbpsを超えるビットレートの録画モードで撮影したハイビジョン画質（HD）の動画が、カメラやメモリーカードに含まれています。このような動画は、DVDにダビングできません。［はい］を選んで、このような動画以外をダビングするか、BDにダビングしてください。
- 1080/60p映像や3D映像のハイビジョン画質（HD）の動画が、カメラやメモリーカードに含まれています。このような動画は、ディスクにダビングできません。［はい］を選んで、このような動画以外をダビングしてください。

入力機器エラー。

- カメラと本機の接続（USBケーブル）がはずれた、またはカメラ側の電源が切れた可能性があります。確認してください。
- メモリーカードを入れ直してください。

システムエラーです。

- このエラーがくり返し発生するような場合は、故障の可能性があります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは相談窓口へ

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

- 型名：VBD-MA1
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間を経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、相談窓口にご相談ください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、外部メディア、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

使用可能なディスク・メモリーカード

ディスクについて

本機では、以下のディスクにダビングできます。ただし、すべてのディスク･製造元の動作を保証するものではありません。

ディスクの種類	使用できるディスク		対応可能なバージョン
	ダビング時	PCモード時	
BD-R	○	○	6倍速メディア*1*2まで
BD-R DL	○	○	6倍速メディアまで
BD-RE	○	○	2倍速メディア*1まで
BD-RE DL	○	○	2倍速メディアまで
DVD+R	○	○	16倍速メディアまで
DVD+R DL（2層）	○*3	○	8倍速メディアまで
DVD+RW	○	○	8倍速メディアまで
DVD-R	○	○	16倍速メディア*4まで
DVD-R DL（2層）		○	8倍速メディア*4まで
DVD-RW	○	○	6倍速メディア*4まで
DVD-RAM		○*5	5倍速メディア*4まで
CD-R		○	48倍速メディアまで
CD-RW		○	24倍速メディアまで

*1 BDXLは対応していません。
*2 BD-R LTHは対応しています。
*3 DV IN端子またはVIDEO IN端子に接続しているときのみ使用できます。
*4 CPRM対応ディスク、非対応ディスク、どちらも使用できます。
*5 カートリッジなしのディスクのみ使用できます。

ディスクに関するご注意

- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスクを使用しないでください。本機の故障の原因となることがあります。
- 市販の記録型ディスクの中には、規格上の品質や性能を満足しない製品があります。そのようなディスクを使用した場合、正常に記録できないことがあります。
- 記録済みのディスクは、傷や汚れ、また記録状態や再生機器、再生ソフトの特性などにより、再生できないことがあります。また、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

"メモリースティック"について

本機では下記の"メモリースティック"が使用できます。ただし、すべての"メモリースティック"の動作を保証するものではありません。

"メモリースティック"の種類	読み込み
"メモリースティック デュオ"	○
"メモリースティック デュオ" ("マジックゲート"／高速データ転送対応)	○*1
"マジックゲート メモリースティック デュオ"	○*1
"メモリースティック PRO デュオ"	○*1*2
"メモリースティック PRO-HG デュオ"	○*1*2*3

*1 本機では"マジックゲート"機能を使ったデータは読み込みできません。

*2 32GBまでの"メモリースティック PRO デュオ"および"メモリースティック PRO-HG デュオ"で動作確認を行っています。

*3 本機は8ビットパラレルデータ転送に対応していません。

SDカードについて

本機では下記のメモリーカードをご使用になれます。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

- SDメモリーカード*1
- SDHCメモリーカード*2
- SDXCメモリーカード*3

*1 2GBまでのSDカードで動作確認を行っています。

*2 32GBまでのSDHCカードで動作確認を行っています。

*3 64GBまでのSDXCカードで動作確認を行っています。

メモリーカードに関するご注意

- メモリーカード誤消去防止スイッチは、先の細いもので動かしてください。
- メモリーカードを初期化するときは、ご使用のカメラで初期化してください。パソコンで初期化したメモリーカードは、動作を保証いたしません。
- 誤消去防止スイッチの形状・位置はお使いのメモリーカードによって異なります。
- ダビング中やメモリーカードランプ点灯中は、メモリーカードを取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破損することがあります。
  – データを読み込み中に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切った。
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で、メモリーカードを使った。
- 金属製のカードアダプターは使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込みはできません。

ダビングにかかる時間とダビングできる時間

ダビングに要する時間

動画をダビングするときに要する時間は、撮影したカメラの録画モード(FX、HD、FH、SPなど)やシーンの数によって変わります。一般に、撮影時に設定した録画モードの画質(ビットレート)が高いほど、ディスクへのダビング時間はかかります。ダビングの所要時間はおおよそ次のようになっています。

ハイビジョン画質(HD)のダビング
(1時間の動画をダビングした場合)

モード	BD	DVD
FX / HD FX	約35分	–
FH / HD FH	約27分	約40分*
HQ / HD HQ	約20分	約25分*
SP / HD SP	約13分	約20分
LP / HD LP	約12分	約15分

* ディスクが2枚必要となります。

標準画質(SD)のダビング
(1時間の動画をダビングした場合)

モード	DVD
HQ / STD HQ	約35分
SP	約25分
LP	約15分

ちょっと一言

- メモリーカードをダビングするときにかかる時間は、メモリーカードの種類によって異なります。
- DV IN、VIDEO INの各端子にビデオカメラをつないでダビングするときに要する時間は、ダビングする動画の再生時間と同じです。

ディスク1枚にダビングできる時間

ディスク1枚にダビングできる時間は、おおよそ次のようになっています。(( )内の時間は、最低記録時間を表示しています。)

ハイビジョン画質(HD)のディスク

ダビングできる時間はカメラの録画モードによって変わります。

録画モード	BD*	DVD
FX / HD FX	2時間20分(2時間20分)	–
FH / HD FH	3時間10分(3時間10分)	35分(35分)
HQ / HD HQ	5時間35分(4時間15分)	1時間(45分)
SP / HD SP	7時間5分(5時間15分)	1時間15分(55分)
LP / HD LP	9時間40分(7時間55分)	1時間45分(1時間25分)

* BD-R DLまたはBD-RE DLを使用した場合は、上記時間の2倍になります。

標準画質(SD)のディスク
(USB端子またはメモリーカードスロットを使用したダビング)

ダビングできる時間はカメラの録画モードによって変わります。

録画モード	DVD
HQ / STD HQ	1時間5分(1時間)
SP	1時間35分(1時間)
LP	3時間15分(2時間5分)

標準画質(SD)のディスク
(DV IN、VIDEO IN端子を使用したダビング)

ダビングできる時間は、本機の設定メニューの[録画画質(録画モード)](54ページ)で設定できます。

本機の[録画画質(録画モード)]設定	DVD*
HQ	1時間
HSP	1時間30分
SP	2時間
LP	3時間

* DVD+R DL(2層ディスク)を使用した場合は、上記時間の約1.8倍になります。

ご注意

- 録画するビデオの内容によって、ディスクに録画できる時間は異なります。

ダビングしたディスクについて

ディスクの特徴について

ブルーレイディスク

- 1枚のDVDにはおさまらない長時間のハイビジョン画質の動画のダビングに適しています。写真もダビングできます。ハイビジョン画質の動画と写真は、追記できます。
- ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダー、"プレイステーション3"などの対応機器で再生できます。

DVD（AVCHDディスク）*

- ハイビジョン画質の動画はDVD-RなどのDVDにダビングできます。写真もダビングできます。ハイビジョン画質の動画と写真は、ファイナライズをしていないDVDに追記できます（55ページ）。
- ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダー、"プレイステーション 3"などのAVCHD規格に対応した機器で再生できます

* この種類のディスクは、他の機器では「HDディスク」、「ハイビジョンDVD」などと称されることがあります。

DVD*

- 標準画質の動画（ハイビジョン画質の動画を変換した動画を含む）はDVD-RなどのDVDにダビングできます。写真もダビングできます。標準画質の動画と写真は、ファイナライズをしていないDVDに追記できます（55ページ）。
- DVDプレーヤー／レコーダーなどの対応機器で再生できます

* この種類のディスクは、他の機器では「SDディスク」、「STDディスク」、「ビデオDVD」、「DVDビデオ」などと称されることがあります。

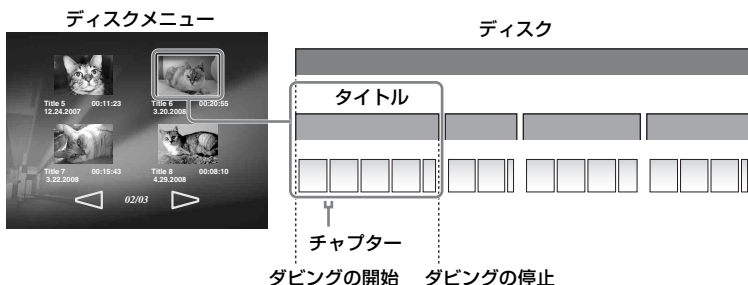
ご注意

- ブルーレイディスクやDVD（AVCHDディスク）は、AVCHDに対応していないDVDプレーヤーやDVDレコーダーでは再生できません。これらのディスクをDVDプレーヤーやDVDレコーダーに入れないでください。ディスクの取り出しができなくなったり、警告なしに画像が消去されたりする恐れがあります。

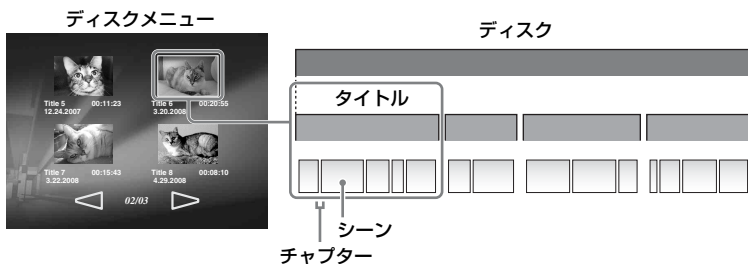
ディスクの構造について

本機で作成したディスクにはディスクメニューが作成されます。ディスクメニューはディスクを再生する時に表示され、日付やサムネイル画像から動画を選ぶのに役立ちます。
動画の画質やダビング時の接続方法によって、ディスク内は以下のように構成されます。また、作成したディスクによって制限事項がありますので、ご注意ください。

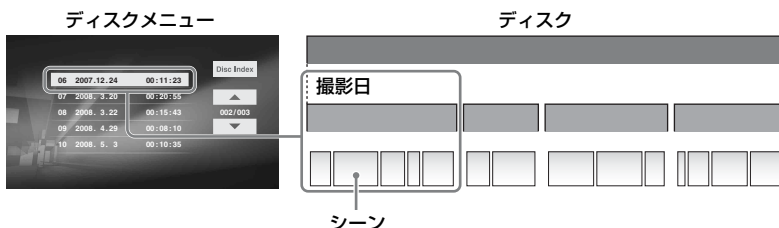
標準画質（SD）の動画を記録したディスク（DV IN、VIDEO IN端子を使用したダビング）

DVD

ディスクメニューには、タイトル（本機でのダビング開始／停止操作で区切られた動画）のサムネイル画像が表示されます。それぞれのタイトルには、［自動チャプター］（55ページ）で設定された間隔で、チャプター（ディスク上での動画の区切り）が自動的に作成されます。

標準画質（SD）の動画を記録したディスク（USB端子またはメモリーカードスロットを使用したダビング）

DVD

- ディスクメニューには、タイトル（撮影日ごとにまとめられた動画）のサムネイル画像が表示されます。それぞれのタイトルは、シーン（カメラで撮影したときの録画開始／停止で区切られた動画）ごとにチャプター（ディスク上での動画の区切り）が自動的に作成されます。
- 異なる録画モード（撮影時のカメラのHQ、SPなどの設定）や異なる画面比率（16：9/4：3）の動画をダビングしたとき、または動画の追記を行ったときは、撮影日が同じ動画でもまとめられる単位が分かれることがあります。

ハイビジョン画質（HD）の動画を記録したディスク

BD DVD

- ディスクメニューには、動画の撮影日が一覧となって表示されます。それぞれの撮影日は、同じ日付のシーン（カメラで撮影したときの録画開始／停止で区切られた動画）で構成されています。
- 異なる録画モード（撮影時のカメラのHQ、SPなどの設定）の動画をダビングしたとき、または動画の追記を行ったときは、撮影日が同じ動画でもまとめられる単位が分かれる場合があります。
- ディスクメニューの右上の[Disc Index]を選ぶと、各シーンの初めから10秒間が順番に再生されます。ダビングされたシーンが長い場合は、5分ごとに自動的にインデックスを作成し、10秒間再生します。

ご注意

- 再生する機器によっては、ディスクメニューが表示されないことがあります。
- 動画と写真を同じディスクにダビングした場合、写真のサムネイル画像や撮影日の一覧はディスクメニューに表示されません。

ちょっと一言

- ディスクメニューの背景には、本機に用意されている画像を使用できます（55ページ）。

写真を記録したディスク

BD DVD

- 写真をディスクにダビングすると、写真にはディスクに記録した順に新しいファイル名が付けられます。
- ディスクにダビングした写真は、ディスク上の"DCIM"フォルダの中の"□□□VBDMA"フォルダに保存されます。(例:"100VBDMA"、"101VBDMA"など)
- DVDには最大4000ファイルまで、BDには最大6000ファイルまでダビングできます。
- ディスクにダビングした写真(JPEGファイル)は、JPEGファイルの再生に対応するDVD機器やBD機器などで閲覧できます。3D写真(MPOファイル)やRAWフォーマットの写真(ARWファイル)は、対応している機器や対応のソフトウェアのあるパソコンが必要です。
- 動画と写真を同じディスクにダビングできます。

ご注意

- ハイビジョン画質(HD)の動画と写真を同じDVDにダビングしたい場合は、最初にハイビジョン画質(HD)の動画をダビングしてから写真を追加でダビングしてください。DVDに写真を最初にダビングすると、追加でダビングできる動画は、標準画質(SD)の動画に限定されます。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

本機のお手入れについて

汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーなどで強く拭くと傷がつく恐れがあります。

輸送について

本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。
本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して1時間以上待ち、それから電源を切ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。再生／録画面に触れないでください。

- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。
- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。
- 記録用ディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

メモリーカードの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など、気温が高い場所
  - 直射日光が当たる場所
  - 湿気の多い場所
  - 腐食性のものがある場所
  - ほこりが多い場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響がある場所
  - 磁気の影響がある場所
- 持ち運びや保管の際は、カードに付属の収納ケースに入れてください。

- 本機でカードを使用中に、カードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの読み込みができなくなる場合があります。

海外でのご使用について

電源コンセントの形状は各国、各地域によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

付属の AC アダプターや電源コードを他の機器で使用しない

火災や感電の原因となります。

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

付属品やメモリーカードなどを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ディスクトレイの開閉時、手をはさまれないようにする

ディスクトレイを開閉する際に、手をはさまれないようにご注意ください。

指のケガに注意

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

接触禁止

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

回転しているディスクにはさわらない

ディスクトレイを開けると、ディスクが回転していることがあります。回転しているディスクにさわると、けがの原因になることがあります。

禁止

主な仕様

録画•ダビング

作成できるディスク

- DVD（DVD+R/+RW/-R/-RW）
  標準画質（SD）動画の記録
  ハイビジョン画質（HD）動画の記録
  写真の記録
- DVD（DVD+R DL）
  標準画質（SD）動画の記録
- BD（BD-R/RE）
  ハイビジョン画質（HD）動画の記録
  写真の記録

記録できるディスク*[1]

BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL、BD-R LTH、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R DL*[2]

*[1] 12cmディスクのみ
*[2] DV入力端子、映像入力端子からのダビングのみ対応

対応の入力ファイル／信号形式

- 標準画質（SD）動画の記録
  MPEG-2 PS*[1]
  （USB端子またはメモリーカードスロット）
  DVC-SD
  （DV入力端子）
  アナログ動画
  （映像入力端子）
- ハイビジョン画質（HD）動画の記録
  AVCHD
  （USB端子*[2]またはメモリーカードスロット）
- 写真の記録
  DCF2.0準拠
  JPEG（.jpgファイル）
  MPO（.mpoファイル）
  RAW（.arwファイル）*[3]

*[1] ソニー製カメラ（8cm DVD対応のビデオカメラを除く）のみ対応
*[2] ソニー製カメラのみ対応
*[3] ソニーARW2.2形式

プレビュー（簡易再生）

再生可能ディスク

VBD-MA1でダビングしたディスク*
（上記以外は非対応）

* ハイビジョン画質（HD）のディスクの再生不可

再生出力

本体液晶画面

PCモード

システム要件*

OS

- Windows XP
  （Home SP3/Professional SP3）
- Windows Vista
  （Home Basic SP2/Home Premium SP2/Business SP2/Ultimate SP2）
- Windows 7
  （Home Premium/Professional/Ultimate）

端子

- High Speed USB（USB2.0）端子

* これ以外に、使用するソフトウェアが必要とするシステム要件を満たす必要があります。

使用できるディスク

- 書き込み(最高速度)
  BD-R(6倍速)、BD-R DL(6倍速)、BD-RE(2倍速)、BD-RE DL(2倍速)
  DVD+R(8倍速)、DVD+R DL(6倍速)、DVD+RW(8倍速)、DVD-R(8倍速)、DVD-R DL(6倍速)、DVD-RW(6倍速)、DVD-RAM(5倍速)
  CD-R(24倍速)、CD-RW(16倍速)
- 読み取り(最高速度)
  BD-ROM(6倍速)、DVD-ROM(8倍速)、CD-ROM(24倍速)
  12cmディスク(BD、DVD、CD)
  8cmディスク(DVD、CD)

入力端子

DV IN端子*[1]

4ピン i.LINK(IEEE1394)、S100、DVC-SD入力

VIDEO IN端子

1 Vp-p/75 Ω

AUDIO IN端子

2 Vrms(入力インピーダンス:47kΩ以上)

USB端子

タイプA*[2]
タイプミニB*[3]

*[1]DV機器接続用。
*[2]ソニー製カメラ接続用(カメラのバッテリー充電は非対応)。
*[3]PCモード(PC接続)用。

メモリーカードスロット*

"メモリースティック デュオ"
SDメモリーカード*

* PCモード時は使用できません。

液晶画面

2.7型 TFT液晶

電源部、その他

電源

DC 12 V(DC IN端子)

消費電力

30 W

ACアダプター AC-NB12A

電源:AC 100 V〜240 V
定格出力:DC 12 V/2.5 A

外形寸法*

約144×42.6×161.5 mm(幅×高さ×奥行き)

* 最大突起物を含む

本体質量

約550 g

許容動作温度

5 ℃〜35 ℃

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

数字

P/N 7925000111A

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China

http://www.sony.co.jp/